

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 9 月 24 日現在

機関番号：13601

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2019～2023

課題番号：19H01230

研究課題名（和文）敦煌書儀・六朝尺牘文献の古代日本への受容実態の展開

研究課題名（英文）The Reception of Dunhuang Calligraphy and Six Dynasties Tablet Documents in Ancient Japan

研究代表者

西 一夫（NISHI, Kazuo）

信州大学・学術研究院教育学系・教授

研究者番号：20422701

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 14,740,000円

研究成果の概要（和文）：本研究課題は、現在日本・中国・台湾等に散在する敦煌文献、なかでも書儀・尺牘を中心に据えた実見調査を通して新たな資料の発掘・紹介を行い、日本への受容や伝搬の実態を解明し、マクロ的に統合することを第1の目的とする。その上で正倉院蔵『杜家立成雑書要略』に焦点を絞り、当該書の注釈作業を通して、敦煌書儀・六朝尺牘の受容をミクロ的にも研究・解明することで、表現・表記・語法・歴史環境分野のさらなる研究推進を実施した。

具体的な成果としては、解説・索引の作成を終えた。前半はコロナ禍で英国・台湾から国内調査ができなかったが、2022・23年度は予定調査の一部を実施した。またシンポジウムや報告書の作成を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究課題によって、日本の古代文学の受容に果たした敦煌文書、なかでも書儀・尺牘の意義を明らかにできた。具体的には以下のような成果が挙げられる。第一に敦煌文書の受容は仏典・社会制度が中心であったけれども、文学的な受容の実態として書儀・尺牘が重要な位置を占めていること。第二に書儀の受容については、類聚された文例集という性格から類書的な存在として受容され、述作に活用されたことを具体的な作品分析を通して明らかにした。第三に新たな敦煌文献が複数発見できたことから、書儀の表現類型をさらに広げて捉えることが可能となった。

研究成果の概要（英文）：The primary objective of this research project is to unearth and introduce new materials through on-site surveys of Dunhuang documents currently scattered across Japan, China, Taiwan, etc., particularly the written forms and tablets, and to clarify the actual state of their reception and spread in Japan and integrate them at a macro level. Based on this, we focused on the Shosoin Treasure House's "Dujia Licheng Zatsusho Yaolue" and, through annotation work on the book, studied and elucidated the reception of Dunhuang written forms and Six Dynasties tablets at a micro level, thereby promoting further research in the fields of expression, notation, grammar, and historical environment.

Specific results include the completion of the creation of commentaries and indexes. In the first half of the year, domestic surveys could not be conducted from the UK and Taiwan due to the COVID-19 pandemic, but some of the planned surveys were conducted in 2022 and 2023.

研究分野：日本文学

キーワード：漢文学 漢文書簡 敦煌文書 書儀 尺牘 上代文学

## 1. 研究開始当初の背景

敦煌文書とは中国甘肅省の敦煌地方の石窟から 1900 年に発見された漢文文書を中心とする歴史資料である。発見後、イギリス・フランス・ロシア等に分蔵された文書は、マイクロフィルムと影印本の刊行等によって国際的な広がりを持ち、「敦煌学」と称されるアジア研究と位置付けられている。研究の中心は大量に残る仏典・行政文書であった。このような状況のなかで、文書発見から半世紀を過ぎて書儀研究が表れる(那波利貞「『元和新定書儀』と杜有晋の編する『吉凶書儀』とに就いて」1962)。書儀とは手紙の模範文例集である。那波論によって補助資料であった書儀が研究対象として位置付き、やがて書儀研究が活発化(中国：趙和平『敦煌写本書儀研究』1993, 周一良・趙和平『唐五代書儀研究』1995, 日本：山本孝子「僧尼書儀に関する二、三の問題」2011 等多数)した。さらに断片文書の綴合による新たな書儀の発見(蔡淵迪「俄蔵本索靖《月儀帖》之綴合之研究」2011, 丸山裕美子「磯部武男氏所蔵「朋友書儀」断簡について(再論)」2017 等)や表現研究(張小豔『敦煌書儀語言研究』2007, 山本孝子「敦煌書儀の言語表現に反映される社会環境」2011 等)に波及している。かたや敦煌の類書が研究対象となるのは、さらに 20 年の時間を要した。

国際的な書儀・類書研究の活性化は新たな書儀・類書断片発見の可能性を高めた。だが陸続と刊行される影印資料では詳細な調査に堪えず実見調査は必須である。しかも書儀・類書は仏典等と異なり損傷が甚だしい。また国内文献では影印のみが公開されている中村不折旧蔵(書道博物館所蔵)の文献調査が不十分な状態にある。つまり国内外の敦煌書儀・類書は、歴史研究の補助的な資料として扱われてきたが、近年、表現研究の重要性が認識されるようになった(張小豔『敦煌書儀語言研究』2007 等)。

また書儀は題目別に文例が並ぶことから広義の類書と言える。敦煌類書は基本的な書誌や影印等が既にある(胡道静『中国古代的類書』1982, 王三慶『敦煌本古類書語對研究』1985、同『敦煌類書』1993 等)。さらに真福寺蔵『瑠玉集』と敦煌文書(S.2072 他)との研究が行われている(山田孝雄:瑠玉集と本邦文学, 1924/西野貞治:瑠玉集と敦煌石室の類書, 1957/福田俊昭『敦煌類書の研究』2003 等)ものの、表現研究は十分ではなく、略注(柳瀬喜代志・矢作武『瑠玉集注釈』1985)以降は停滞状態にある。なお、敦煌文書全体でも歴史研究が中心(小口雅史, 基盤研究 B: 学界未利用の在東欧・北欧所蔵西域出土文書を用いた、東アジア新古文書学の創造的研究, 2012-2014 等多数)であり、表現(文学)研究は少なく(高田時雄, 基盤研究 B: ロシアに所蔵される敦煌吐魯番等発見漢文文献の研究, 2009-2012)、これまでの表現研究からアプローチする課題設定を継承・発展させる意義は大きい。このような学術的研究課題を進めるために申請者は、毎年学術研究会を奈良女子大学と共催して敦煌書儀・類書を表現研究の視点から捉え直す機運を高めた。また 2022 年度からは、より学際的な視点から研究成果を価値付けるために東京大学史料編纂所との共催で連続講演会を開催した。

以上のように 3 つの柱の研究を推進することで、学際的な視点から古代日本の文学受容の実態が具体的に明らかになるのではないと考えている。

## 2. 研究の目的

本研究課題の目的は、敦煌書儀・類書を歴史学等の研究対象のみならず、表現的研究・語学等の文学の学問領域をも含めた複眼的・学際的な視点から敦煌書儀・類書を

分析し、古代日本への受容実態の深化の様相の解明にある。その具体として『杜家立成雑書要略』の注釈に成果を集約すると共に、敦煌本『瑠玉集』の校訂本文・略注の提供を行う。前者は日本にのみ残存する中国文献であり、後者は日本の残存文献と敦煌資料とは同一書名ながら異なる内容を有しているという特異な文献であることから、注釈的研究によって、受容実態の視点から文献の独自性を解明することに学術的独自性と創造性がある。

### 3. 研究の方法

2019年度

#### A: 注釈班

(改訂推敲): 素稿として作成した本文注釈(1-10)を輪読で原稿を改訂した。

(翻刻・逸文集成): 敦煌本『瑠玉集』(S.2072他)を海外の翻刻と実見調査での成果を活用して翻刻テキストを作成。先行研究から逸文の集成を行った。

#### B: 受容・語学・歴史班

(文書形式の比較・分析): 作成済みの各種語彙集成(敦煌書儀語彙集成, 同, 奈良朝書簡語彙集成, 平安初期書簡語彙集成 空海・最澄・圓仁篇)との比較検討を行った。これによって書儀・尺牘文献語彙と古代日本での文書語彙との関係を捉えることが可能となった。なお書儀を対象とした研究成果(呉麗娵『唐礼摭遺—中古書儀研究』2002, 王啓濤『吐魯番出土文書詞語考釈』2005, 張小豔『敦煌書儀語言研究』2007)を随時参照して作業を進めた。また語彙の口語性については松尾良樹「口語語彙索引」(基盤研究C: 敦煌文書・トルファン文書・正倉院文書の比較写本学研究, 2000-2002)の掲出語彙を参照して作業を行った。

(国内調査文献の語彙検討): 書道博物館所蔵の索靖「月儀帖」と書儀語彙集との比較検討をおこない、類似性と独自性とを明らかにするため文献調査を行った。その成果を踏まえて敦煌類書との語彙検討によって書儀(月儀)と類書との関係のある程度明らかにする見通しを思った。

#### C: 文献調査班(国内外)

(国外): 台湾国立中央図書館所蔵の断片文書(「尺牘」)の事前準備を行った。

(国内): 書道博物館所蔵の「月儀帖」と「月令」(吐魯番文書)の文献調査を行った。これは丸山裕美子の成果(「磯部武男氏所蔵「朋友書儀」断簡について(再論)」2017)と関わり、「月儀帖」の系統把握と特性解明の上で必要不可欠な文書であった。あわせて文書形式の特質解明にあたる。調査実施に当たり書道博物館主任研究員の鍋島稲子に全面的な協力を得て実施した。

#### D: 成果発表

(国内発表): 和漢比較文学会(会場未定), 萬葉学会(関西大学), 正倉院文書研究会(東大寺博物館)等。

(学術研究会/報告書): 奈良女子大学との共催で8月に学術研究会を開催した。報告書刊行。また東京大学史料編纂所との共催で公開講演会を開催。

2020年度

#### A: 注釈班

素稿として作成した本文注釈(11-20)を輪読形式で原稿改訂を進めた。

敦煌本の校訂本文と真福寺本とを対校して校異の一覧の作成を完了できた。

B：受容・語学・歴史班

敦煌書儀・類書の文書形式の比較検討を行った。楊莉(敦煌書儀における言語表現の研究,2009)や山本孝子(敦煌吉凶書儀の言語に反映される社会環境,2014)の書儀研究の成果を参照して継続的に行った。

受容調査では桑原祐子の研究成果を活用して歴史史料(正倉院文書,木簡)を中心に検討した。

C：文献調査班(国内外)

(国外)当初予定した台湾・イギリス文献調査はコロナ蔓延によって中止。

(国内)書道博物館の調査はコロナのため中止。

D：成果発表

国際学会は中國文化大学国際学会(台湾・オンライン開催)、国内学会は日本語学会(オンライン開催)等で実施。

奈良女子大学との共催で8月に公開学術研究会をオンライン開催して報告書を刊行した。

## 2021 年度

A：注釈班

素稿として作成した本文注釈( 21-30)を輪読形式で原稿改訂(オンライン開催)。

敦煌本の校訂に基づいて前半部分の注釈素稿の作成を行った。

B：受容・語学・歴史班

前年度の受容調査に引き続いてをおこなう(オンラインによる検討会)。

前年度と本年度の受容調査を受けて書儀と類書語彙との「語性」を検討した。書儀と類書との表現や語法の差異について検討を行った。 ・ とともに申請者の研究成果(敦煌書儀語彙集成 ,同 ,奈良朝書簡語彙集成,平安初期書簡語彙集成 空海・最澄・圓仁篇)を活用して文学史料(萬葉集,古事記,日本書紀,続日本紀)を継続的に検討した。

C：文献調査班(国内外)

(国外)当初予定の海外文献調査は全て中止。

(国内)当初予定の文献調査は全て中止。

D：成果発表

国内学会は上代文学会(オンライン開催)萬葉学会(オンライン開催)等で実施。

奈良女子大学との共催で8月に公開学術研究会(オンライン開催)を開催して報告書を刊行。

## 2022 年度

A：注釈班

素稿として作成した本文注釈( 31-36)を輪読形式で原稿改訂した。

敦煌本の校訂に基づいて後半部分の注釈素稿の作成を実施。

B：受容・語学・歴史班

特質解明ならびに現存文書との比定調査を行った。

C：文献調査班(国内外)

(国外)夏期(8月)にイギリス文献調査を実施した。

(国内)書道博物館所蔵の伝吐魯番出土文書(台東区立書道博物館「台東区立書道博物館所蔵中村不折旧蔵禹域墨書集成(中)」2005,山科玲児「故宮本 十二月朋友相聞書の年代」2009)の追加調査を実施した。

D：成果発表

国際学会は中國文化大学(台湾,オンライン開催)、国内学会は和漢比較文学会(フェリス学院大学,オンライン開催)等で成果を示す。

奈良女子大学との共催で8月に公開学術研究会を開催(オンライン開催)して報告書を刊行した。

2023 年度

A：注釈班

注釈全体の推敲を終えて解説原稿の作成を行いオンライン研究会で検討する。

全体を通して注釈素稿の内容を調整。解説原稿の素稿を全体会で検討した。

B：受容・語学・歴史班

全体を通して受容の実態を注釈へ反映した。

C：文献調査班(国内外)

(国外)冬期(2月)にイギリス文献調査を実施した。

(国内)『俄蔵敦煌文献』未収録文書のマクロフィルム調査を東洋文庫で実施した。

D：成果発表

本研究課題の成果である「杜家立成雑書要略注釈」をWEB版と冊子版(私家版：200冊)とで公開。校本『瑠玉集』解説を完成した。

奈良女子大学との共催で8月に公開学術研究会を対面開催して報告書を刊行した。

4．研究成果

以下のような成果を得た。

- ・奈良女子大学と共催で公開学術研究会を開催し、年度末に成果報告書を刊行した。
- ・代表者、分担者共に研究課題に関する研究成果を論文・著書として公刊した。
- ・代表者、分担者が所属学会等で研究課題に関する成果を口頭発表した。
- ・従来未検討であった書儀文献に検討を行い、その成果を注釈原稿に反映した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計26件（うち査読付論文 15件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

|  |                      |
|--|----------------------|
| 1. 著者名<br>奥村和美                           | 4. 巻<br>17           |
| 2. 論文標題<br>『萬葉集』巻十六・三八五七番歌考 『遊仙窟』という趣向   | 5. 発行年<br>2022年      |
| 3. 雑誌名<br>第17回若手研究者支援プログラム 萬葉集巻十六を読む 報告集 | 6. 最初と最後の頁<br>95-110 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし            | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-            |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>奥田俊博                           | 4. 巻<br>17          |
| 2. 論文標題<br>『万葉集』巻十六の豊後国・豊後国白水郎歌の配列をめぐって  | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>第17回若手研究者支援プログラム 萬葉集巻十六を読む 報告集 | 6. 最初と最後の頁<br>81-94 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし            | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>奥田俊博                         | 4. 巻<br>104         |
| 2. 論文標題<br>『万葉集』巻十六「無名歌六首」考            | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>美夫君志                         | 6. 最初と最後の頁<br>38-53 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>奥村和美                               | 4. 巻<br>18          |
| 2. 論文標題<br>『萬葉集』巻十六の文章と歌ー『杜家立生雜書要略』との関連を通してー | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>第18回若手研究者支援プログラム 萬葉集巻十六を読む 報告集     | 6. 最初と最後の頁<br>64-77 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>奥田俊博                         | 4. 巻<br>105         |
| 2. 論文標題<br>戯書の文字表現                     | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>美夫君志                         | 6. 最初と最後の頁<br>12-29 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>佐野宏                          | 4. 巻<br>48          |
| 2. 論文標題<br>「字音語」についての覚書き               | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>京都大学国文学論叢                    | 6. 最初と最後の頁<br>12-25 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>大橋賢一                         | 4. 巻<br>80          |
| 2. 論文標題<br>杜甫「画馬讚」訳注                   | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>中国文化                         | 6. 最初と最後の頁<br>72-80 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>茂野智大                         | 4. 巻<br>9             |
| 2. 論文標題<br>資料 萬葉百首選十五種採録歌一覧            | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>武蔵野大学日本文学研究所紀要               | 6. 最初と最後の頁<br>27 - 42 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>白井伊津子・平舘英子・岩田芳子・安井絢子・茂野智大    | 4. 巻<br>45         |
| 2. 論文標題<br>性霊集便蒙引書考証稿(二)               | 5. 発行年<br>2021年    |
| 3. 雑誌名<br>長谷川仏教文化研究所年報                 | 6. 最初と最後の頁<br>1-38 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>大橋賢一                         | 4. 巻<br>5           |
| 2. 論文標題<br>杜詩の二人称代名詞に関する覚え書き 「汝曹」を中心に  | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>杜甫研究年報                       | 6. 最初と最後の頁<br>37-52 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>大橋賢一                         | 4. 巻<br>34          |
| 2. 論文標題<br>大町桂月「大雪山七首」訳注               | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>旭川国文                         | 6. 最初と最後の頁<br>12-20 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>西一夫                            | 4. 巻<br>17            |
| 2. 論文標題<br>萬葉集と敦煌関連資料 書儀と類書              | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>第17回若手研究者支援プログラム 萬葉集巻十六を読む 報告集 | 6. 最初と最後の頁<br>20 - 33 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし           | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>茂野智大                         | 4. 巻<br>67          |
| 2. 論文標題<br>「紫峰」の淵源 筑波山の「紫」をめぐる文学史      | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>日本語と日本文学                     | 6. 最初と最後の頁<br>19-35 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>奥田俊博                         | 4. 巻<br>43         |
| 2. 論文標題<br>風土記の文字表現 書くことと読むことをめぐる序説として | 5. 発行年<br>2021年    |
| 3. 雑誌名<br>風土記研究                        | 6. 最初と最後の頁<br>1-17 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|  |                      |
|--|----------------------|
| 1. 著者名<br>西一夫                          | 4. 巻<br>40           |
| 2. 論文標題<br>離別の情感 『杜家立成雑書要略』所収友人関連文例の特質 | 5. 発行年<br>2021年      |
| 3. 雑誌名<br>萬葉集研究                        | 6. 最初と最後の頁<br>77-104 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-            |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>奥田俊博                         | 4. 巻<br>40            |
| 2. 論文標題<br>『万葉集』巻十六「越中国歌四首」考           | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>萬葉集研究                        | 6. 最初と最後の頁<br>29 - 75 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>奥村和美                         | 4. 巻<br>40            |
| 2. 論文標題<br>大伴家持「為応 詔儲作歌」考              | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>萬葉集研究                        | 6. 最初と最後の頁<br>183-210 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>大橋賢一                         | 4. 巻<br>13          |
| 2. 論文標題<br>杜詩「涕泗」札記 「登岳陽楼」を中心に         | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>杜華                           | 6. 最初と最後の頁<br>29-33 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>奥田俊博                         | 4. 巻<br>62          |
| 2. 論文標題<br>風土記の文体と表記                   | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>古事記年報                        | 6. 最初と最後の頁<br>64-81 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>奥村和美                         | 4. 巻<br>19            |
| 2. 論文標題<br>越の国の歌だより 書儀・書簡と家持の和歌        | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>高岡市万葉歴史館論集                   | 6. 最初と最後の頁<br>22 - 50 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>奥村和美                         | 4. 巻<br>47          |
| 2. 論文標題<br>『靈異記』における書儀・書簡的表現の利用        | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>叙説                           | 6. 最初と最後の頁<br>11-22 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                      |
|--|----------------------|
| 1. 著者名<br>白井伊津子                        | 4. 巻<br>44           |
| 2. 論文標題<br>性霊集便蒙引書考証稿(一)               | 5. 発行年<br>2020年      |
| 3. 雑誌名<br>長谷川仏教文化研究所年報                 | 6. 最初と最後の頁<br>1 - 75 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-            |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>白井伊津子                        | 4. 巻<br>44            |
| 2. 論文標題<br>墓誌における「死」の表現をめぐって           | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>長谷川仏教文化研究所年報                 | 6. 最初と最後の頁<br>201-214 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>西一夫                          | 4. 巻<br>65         |
| 2. 論文標題<br>空海書簡の表現 独創と汎用               | 5. 発行年<br>2020年    |
| 3. 雑誌名<br>日本語と日本文学                     | 6. 最初と最後の頁<br>5-14 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>西一夫                            | 4. 巻<br>97-4       |
| 2. 論文標題<br>『杜家立成雜書要略』友人関連文例の特質 同一題目文例の分析 | 5. 発行年<br>2020年    |
| 3. 雑誌名<br>国語と国文学                         | 6. 最初と最後の頁<br>1-18 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし           | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-          |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>西一夫                          | 4. 巻<br>47-11       |
| 2. 論文標題<br>山上憶良は生老病死をどのように歌ったか 老・病・死と子 | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>現代思想 8月臨時増刊号                 | 6. 最初と最後の頁<br>43-51 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

〔学会発表〕 計14件 (うち招待講演 2件 / うち国際学会 2件)

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>奥村和美                                  |
| 2. 発表標題<br>基調講演「『萬葉集』巻十六について 『杜家立成雜書要略』との関連を通して」 |
| 3. 学会等名<br>2022年臺灣大學日本語文創新國際學術研討會 (招待講演) (国際学会)  |
| 4. 発表年<br>2022年                                  |

|                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>西一夫                      |
| 2. 発表標題<br>萬葉集の雅と俗 巻16の歌の世界         |
| 3. 学会等名<br>連続講演会 古典から読み解く歴史学 (金鷄会館) |
| 4. 発表年<br>2022年                     |

|                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>西一夫                        |
| 2. 発表標題<br>書簡表現からみる空海と最澄の交流 表現分析と文化受容 |
| 3. 学会等名<br>連続講演会 古典から読み解く歴史学（金鷄会館）    |
| 4. 発表年<br>2022年                       |

|                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>佐野宏                        |
| 2. 発表標題<br>「字音語」と仮名                   |
| 3. 学会等名<br>第17回若手研究者支援プログラム 萬葉集巻十六を読む |
| 4. 発表年<br>2022年                       |

|                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>大橋賢一                     |
| 2. 発表標題<br>杜詩の「齒」について               |
| 3. 学会等名<br>北海道教育大学旭川校国語国文学会第214回月例会 |
| 4. 発表年<br>2021年                     |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>西一夫                                    |
| 2. 発表標題<br>萬葉集と敦煌関係資料 書儀と類書                       |
| 3. 学会等名<br>第17回若手研究者支援プログラム（奈良女子大学 古代学・聖地学研究センター） |
| 4. 発表年<br>2021年                                   |

|                           |
|---------------------------|
| 1. 発表者名<br>大橋賢一           |
| 2. 発表標題<br>杜甫の詩の「汝曹」について  |
| 3. 学会等名<br>2021年度中国文学学会大会 |
| 4. 発表年<br>2021年           |

|                                  |
|----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>大橋賢一                  |
| 2. 発表標題<br>杜甫の詩における「誰與」と「與誰」について |
| 3. 学会等名<br>東山の会                  |
| 4. 発表年<br>2019年                  |

|                              |
|------------------------------|
| 1. 発表者名<br>桑原祐子              |
| 2. 発表標題<br>正倉院文書にみる実務官人の言語生活 |
| 3. 学会等名<br>佛教大学国語国文学会        |
| 4. 発表年<br>2019年              |

|                      |
|----------------------|
| 1. 発表者名<br>奥田俊博      |
| 2. 発表標題<br>風土記の文体と表記 |
| 3. 学会等名<br>古事記学会     |
| 4. 発表年<br>2019年      |

|                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>西一夫                    |
| 2. 発表標題<br>『杜家立成雜書要略』の物品貸借関連文例の特質 |
| 3. 学会等名<br>上代文学会秋季大会研究発表会         |
| 4. 発表年<br>2019年                   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>西一夫                            |
| 2. 発表標題<br>「月」への憧憬 『徒然草』に見る美意識            |
| 3. 学会等名<br>2019年中国文化大学日本語文学系国際学術研討会（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2019年                           |

|                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>奥村和美                      |
| 2. 発表標題<br>大伴坂上郎女の来贈歌 大伴家持代作歌への返歌として |
| 3. 学会等名<br>萬葉学会全国大会                  |
| 4. 発表年<br>2019年                      |

|                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>奥村和美                   |
| 2. 発表標題<br>橘宿祢賜姓を願う表と大伴家持         |
| 3. 学会等名<br>美夫君志会全国大会招待研究発表会（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2019年                   |

〔図書〕 計8件

|                              |                 |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>説話と説話文学の会（白井伊津子他）編 | 4. 発行年<br>2022年 |
| 2. 出版社<br>清文堂出版株式会社          | 5. 総ページ数<br>954 |
| 3. 書名<br>日本説話索引 第三巻          |                 |

|  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 著者名<br>鉄野昌弘・奥村和美編                     | 4. 発行年<br>2022年 |
| 2. 出版社<br>塙書房                            | 5. 総ページ数<br>476 |
| 3. 書名<br>萬葉集研究第42集（奥村和美「巻十六「怕物歌三首」について」） |                 |

|   |                 |
|---|-----------------|
| 1. 著者名<br>奈良女子大学古代学・聖地学研究センター（奥村和美他）編   | 4. 発行年<br>2022年 |
| 2. 出版社<br>奈良女子大学古代学・聖地学研究センター           | 5. 総ページ数<br>100 |
| 3. 書名<br>第17回若手研究者支援プログラム 萬葉集巻十六を読む 報告集 |                 |

|  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 著者名<br>国立歴史民俗博物館・花王株式会社編，桑原祐子著（第1章） | 4. 発行年<br>2022年 |
| 2. 出版社<br>吉川弘文館                        | 5. 総ページ数<br>211 |
| 3. 書名<br>洗う 文化史「きれい」とは何か               |                 |

|                                       |                 |
|---------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>上野誠・鉄野昌弘・村田右富実編，西一夫著（ 部第5章） | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>角川書店                        | 5. 総ページ数<br>453 |
| 3. 書名<br>万葉集の基礎知識                     |                 |

|                                   |                  |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. 著者名<br>説話と説話文学の会編，白井伊津子（編集主担当） | 4. 発行年<br>2021年  |
| 2. 出版社<br>清文堂出版社                  | 5. 総ページ数<br>1089 |
| 3. 書名<br>日本説話索引 第二巻               |                  |

|   |                 |
|---|-----------------|
| 1. 著者名<br>上野誠・鉄野昌弘・村田右富実編                 | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>角川書店                            | 5. 総ページ数<br>453 |
| 3. 書名<br>万葉集の基礎知識（中国文学と万葉集、【コラム】敦煌文書と万葉集） |                 |

|                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>向嶋成美 他  | 4. 発行年<br>2019年 |
| 2. 出版社<br>大修館書店   | 5. 総ページ数<br>914 |
| 3. 書名<br>李白と杜甫の事典 |                 |

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

## 6. 研究組織

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                      | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)              | 備考 |
|-------|--|------------------------------------|----|
| 研究分担者 | 小林 比出代<br>(KOBAYASHI Hideyo)<br><br>(10631187) | 信州大学・学術研究院教育学系・教授<br><br>(13601)   |    |
| 研究分担者 | 大橋 賢一<br>(OHASHI Kennichi)<br><br>(20451453)   | 北海道教育大学・教育学部・教授<br><br>(10102)     |    |
| 研究分担者 | 奥田 俊博<br>(OKUDA Toshihiro)<br><br>(30343685)   | 九州女子大学・人間科学部・教授<br><br>(37103)     |    |
| 研究分担者 | 白井 伊津子<br>(SHIRAI Istuko)<br><br>(40323224)    | 淑徳大学・総合福祉学部・教授<br><br>(32501)      |    |
| 研究分担者 | 茂野 智大<br>(SHIGENO Tomohiro)<br><br>(40853057)  | 筑波大学・人文社会系・助教<br><br>(12102)       |    |
| 研究分担者 | 佐野 宏<br>(SANO Hiroshi)<br><br>(50352224)       | 京都大学・人間・環境学研究科・教授<br><br>(14301)   |    |
| 研究分担者 | 奥村 和美<br>(OKUMURA Kazumi)<br><br>(80329903)    | 奈良女子大学・人文科学系・教授<br><br>(14602)     |    |
| 研究分担者 | 桑原 祐子<br>(KUWABARA Yuuko)<br><br>(90423243)    | 奈良学園大学・人間教育学部・非常勤講師<br><br>(34604) |    |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|
|---------|---------|